

# No. 1516

## 波乱！'85ドラフト

— 東京・九段 —

1985年度、ドラフト会議が10月20日東京・九段のホテルグランドパレスで開かれました。6チームが第一位に指名したPL学園の清原和博選手の抽選。一斉に開封の結果、幸運のくじは監督未決定のパ・リーグ西武が交渉権を獲得。清原を逃がした中日は一転青山学院大のエース斎藤学投手を指名。一方巨人はプロ入りを拒否し早大を志望していたPL学園の桑田真澄投手を指名。他チームを重然とさせました。この意表をついた作戦。桑田選手の心をとらえた様子。しかし桑田指名騒動はドラフト制度の今后に尾を引きそうです。

## 初 冬

— 飛驒高山 —

岐阜県高山市は、飛驒の小京都と呼ばれ年間200万人の観光客が訪れます。そして高山市で欠かすことの出来ないものに宮川河畔の朝市があります。この朝市の店先に並ぶ品々で高山の四季がわかります。

初冬には、赤カブラが顔を出します。これを長い冬を越すための漬物用に主婦たちがこぞって買い求めて行きます。

森本静子さんはこの朝市で赤カブや野沢菜などのつけ物を売って30年にもなります。

観光客が来ると自慢の赤カブラの漬物を試食させ、売りさばいて行きます。

こうして赤カブラやつけ物が朝市に出まわると高山は初冬から一足飛びに冬に入っていきます。